

オープンサイエンス及び研究データ管理に係る 参考となる取組事例

この事例集は、令和元年9月に当委員会が実施した「オープンサイエンス・研究データ管理に関する取組状況調査」における回答や、インターネットで公開されている情報等に基づきピックアップしたものです。掲載をご承諾いただいた会員館の皆様に感謝申し上げます。

1. オープンサイエンス・研究データを所掌する組織等の設置や参加

- ・ 研究・産学連携本部の下に、[オープンサイエンス推進部門](#)を設置（2018年4月）【東京工業大】
- ・ 学術情報・図書館委員会（附属図書館を所掌する委員会）の下に、オープンサイエンス推進部会を設置【信州大】
- ・ 研究データ基盤整備部会、学術データ基盤整備WG（情報連携統括本部、学術研究・産学官連携推進本部）への参加【名古屋大】
- ・ 研究データマネジメント・プロジェクト（情報連携統括本部）への参加【名古屋大】
（参考）松岡孝. [研究データマネジメント環境に向けた準備](#). 平成30年度第14回名古屋大学技術研修会（2019年3月1日）
（参考）『[名古屋大学附属図書館研究開発室 年次報告 2018](#)』 p.13ほか
- ・ 学術情報リポジトリ専門委員会オープンデータ推進ワーキンググループ及び情報統括本部研究データ管理基盤検討タスクフォースを設置【九州大】

2. 研究データに関するポリシー・方針・規程等

- ・ [研究データの保存等に関するガイドライン](#)【信州大】
- ・ [学術データポリシー](#)【名古屋大】
- ・ [研究データの保存等に関する取扱い](#)（部署名：研究支援課）【豊橋技術科学大】
- ・ [研究データ管理・公開ポリシー](#)【京都大】
（参考）西岡千文，藤原由華，吉田弘子. [「京都大学研究データ管理・公開ポリシー」採択の経緯](#). カレントアウェアネス-E. 397, E2295, 2020
- ・ [研究データの保存に関する指針](#)（部署名：研究協力課）【奈良女子大】
- ・ 「徳島大学における研究資料等の保存に関するガイドライン」を制定し，研究者から研究データの保存等に関する誓約書を徴収（部署名：研究戦略室）【徳島大】

3. 研究データに関する研究者向けアンケート、インタビュー調査

- ・ [北海道大](#)（2019年11月：アンケート）
- ・ 千葉大（2019年2～3月：教員・院生インタビュー）
- ・ 東京工業大（2018年10月、及び2020年9月：アンケート）
- ・ 信州大（2020年1～10月：インタビュー、2020年10～11月：アンケート）
- ・ 名古屋大（2019年4～5月：[アンケート](#)、2020年3月：宇宙地球環境研究所研究者へインタビュー）

- ・ 滋賀医科大 (2019年10月：インタビュー)
- ・ [京都大](#) (2018年12月～2019年1月：アンケート。2018年12月～2019年2月：インタビュー)
- ・ 広島大 (2019年11月：アンケート)
- ・ [京都大・広島大・大阪府立大・北海道大・名古屋大の比較](#) (2019年11～12月：アンケート)
(参考) 青木学聡. [「大学における研究データに関するアンケート\(雛形\)」の公開](#). カレントアウェアネス-E. 2020, 399, E2308

4. 機関リポジトリにおける研究データへの対応

- ・ 「[資料提供・公開細則](#)」の改正を行い、研究データの登録について明記【北海道大】
- ・ 教員に研究データを提供してもらい、モデルケースとなるデータを機関リポジトリに登録・公開 [事例(1), (2)]【宇都宮大】
- ・ CHORUS 機関ダッシュボードサービスから得た、オープンアクセス論文のメタデータと関連づくデータセットの DOI 情報を、あわせて機関リポジトリに登録・公開【千葉大】
(参考) 竹内比呂也. [CHORUS から機関リポジトリへ：千葉大学 CURATOR における DOI の活用](#). Japan Open Science Summit 2019 (JOSS2019), 2019.
- ・ 論文の論拠となる研究データ (ファイルサイズ制限あり) を東京大学学術機関リポジトリで受け付け、DOI を付与し公開 [参考]【東京大】
- ・ 従来より、研究データを研究成果としてリポジトリで公開しており、2020年には3件登録・公開 [事例(1), (2), (3)]【名古屋大】
- ・ 従来より、研究データを学内研究成果としてデジタルアーカイブで公開しており (1つのコレクションを1件の研究データとして機関リポジトリに登録。現在も公開中。)、そのうち1つのデータベースについては昨年度及び今年度も含め、月に1度データの更新を行っている【神戸大】
- ・ 研究データのリポジトリ試行登録依頼【岡山大】
- ・ 関連規程の改正を行い、オープンサイエンスや研究データの登録について明記【琉球大】

5. シンポジウム・ワークショップ・講演会等

<会員館>

- ・ 情報連携推進本部公開講演会・研究会 [開催内容]【名古屋大】
- ・ [シンポジウム「オープンデータとデジタルヒューマニティーズ」](#) (2017年1月18日)【九州大】
- ・ 京都大学附属図書館研究開発室セミナー「研究データ管理と大学図書館 - 北米大学の事例を中心に -」 [開催内容] (2018年6月11日)【京都大】
- ・ [シンポジウム「オープンデータと大学」](#) (2019年1月30日)【九州大】
(参考) [資料と公共性：2018年度研究成果年次報告書](#). 九州大学大学院人文科学研究院, 2019
- ・ [平成30年度国立大学図書館協会近畿地区助成事業「オープンサイエンス時代の大学図書館－これから求められる人材とは－」](#) (2019年2月13日)【京都大】
- ・ [平成30年度職員研修「オープンサイエンスの基礎知識：大学と研究データ」](#) (2019

- 年2月19日)【大阪大】
- ・ [第2回京都大学研究データマネジメントワークショップ](#) (2019年2月28日)【京都大】
- ・ オープンサイエンス研修会 [[開催報告](#)] [[資料](#)] (2019年9月30日)【神戸大】
- ・ オープンサイエンス研修会 [[開催報告](#)] (2019年10月30日)【東京学芸大】
- ・ シンポジウム・ワークショップ「大学における研究データサービス」 [[開催報告](#)] [[資料](#)] (2019年12月5～6日)【九州大】
- ・ 学術講演会「オープンサイエンスと大学図書館-京都大学の取り組み-」 [[開催報告](#)] [[資料](#)] (2019年12月6日)【愛媛大】
- ・ [オープンサイエンス講演会](#) (2019年12月10日)【信州大】
- ・ [令和元年度国立大学図書館協会中国四国地区協会・JPCOARワークショップ『『OA + x = OS』～とにかくオープンアクセス・オープンサイエンス～](#) (2020年2月13日)【岡山大】
- ・ [第3回京都大学研究データマネジメントワークショップ](#) (2020年2月27日)【京都大】
- ・ [NII 学術情報基盤オープンフォーラム 2020 AXIES 研究データマネジメント部会合同トラック「学術機関における研究データ管理フレームワーク」](#) (2020年6月9日)
- ・ [第4回京都大学研究データマネジメントワークショップ](#) [[開催内容](#)] (2020年9月19日)【京都大】
- ・ ワークショップ「はじめての研究データ管理とそのサポート」 [[開催内容](#)] (2021年2月1日)【九州大】

<会員館以外>

- ・ Japan Open Science Summit 2019 (JOSS2019) (2019年5月27～28日)
[「C3 研究データマネジメント人材の育成を展望する」](#)
[「C4 機関リポジトリにおける研究データ公開に向けた取り組み」](#)
[「G1 研究活動の新たな常識としてのデータ引用の実現に向けて」](#)
- ・ [第1回 SPARC Japan セミナー2019「人文社会系分野におけるオープンサイエンス ～実践に向けて～」](#) (2019年10月24日)
- ・ [第3回 SPARC Japan セミナー2019「実践 研究データ管理」](#) (2020年2月7日)
- ・ 2020年度第1回 J-STAGE セミナー「ジャーナルから見た研究データ：研究データ公開の意義」 [[配付資料](#)] [[報告書](#)] (2020年8月28日)
- ・ [第1回 SPARC Japan セミナー2020「研究データ公開：フルオープンと制限公開の境界線」](#) (2020年10月2日)
- ・ シンポジウム「研究データの重要性と公正研究の推進」 [[開催報告](#)] (2020年10月21日)
- ・ JST-STM ジョイントセミナー「学術出版における変革：研究データ」(第2回 J-STAGE セミナー「ジャーナルから見た研究データ：国際動向」) [[配付資料](#)] [[報告書](#)] (2020年10月27日)
- ・ [研究データ利活用協議会 \(RDUF\) 公開シンポジウム](#) (2020年12月2日)
- ・ [第3回 SPARC Japan セミナー2020「初めての研究データ」](#) (2021年2月18日)
- ・ 2020年度第3回 J-STAGE セミナー「ジャーナルから見た研究データ：データ公開の実践」 [[開催内容](#)] [[資料](#)] (2021年3月1日)

6. 海外大学等における事例調査報告

- ・ 西岡千文, 杉田茂樹, 山中節子. [米国におけるオープンアクセスと研究データ管理](#). 大学図書館研究, 2018, 109, 2007.
- ・ 安原通代, 藤原由華. [ドイツおよびオランダにおける研究データ管理サービスの現状とデジタルアーカイブの活用について：平成 30 年度京都大学若手人材海外派遣事業ジョン万プログラム\(職員派遣\)による海外派遣研修報告書](#). 2019
- ・ 佐藤亜紀. [オーストラリアの大学図書館における研究データ管理支援サービスの先行事例報告](#). 大学図書館研究, 2020, 114, 2057.
- ・ 児玉陽子. [シドニー大学における研究データ管理～担当者へのヒアリングから](#). 情報の科学と技術, 2020, 70(8), 432-435.

7. その他

- ・ 前年度に終了した研究課題について研究データを提出させ、大学の研究データ蓄積機器に保存（部署名：学術・社会貢献係）【筑波技術大】
- ・ オープンサイエンス推進に向けた取り組みについて、他部署と連携して今後の検討課題を洗い出し、附属図書館運営委員会及び学術・社会貢献推進委員会で共有【筑波技術大】
- ・ 大学院生向けの、Research Data Management をテーマに含む、「研究リテラシー教材」を作成【千葉大】
（参考）國本千裕. [創りながら学びあう：教職協働による「学生向け RDM 学習教材」の開発](#). Japan Open Science Summit 2019 (JOSS2019) , 2019.
- ・ [「研究データ公開支援」サイト](#)の公開【京都大】
- ・ 「研究データ管理のための MLA 勉強会」（連携部署名：博物館、文書館）【京都大】
- ・ オープンサイエンス・研究データ管理への取組について、学内の関連部署によるフリーディスカッション（勉強会）を実施【徳島大】
- ・ 研究データの管理・公開に係る研究者向け e ラーニング教材の開発（令和 2 年度 国立大学図書館協会オープンサイエンスの推進に向けた先導的事業）【九州大】

8. 付録

<教材等>

- ・ [「RDM トレーニングツール」](#)（2017 年公開）（JPCOAR）
- ・ [「オープンサイエンス時代の研究データ管理」](#)（2017 年公開）（NII）
- ・ [「研究者のための研究データマネジメント」](#)（2020 年公開）（JPCOAR）
- ・ [「研究データ管理サービスの設計と実践（第 2 版）」](#)（2021 年公開）（JPCOAR）

<関連団体等>

- ・ [大学 ICT 推進協議会（AXIES）](#)
- ・ [オープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）](#)
- ・ [NII オープンサイエンス基盤研究センター（RCOS）](#)
- ・ [研究データ利活用協議会（RDUF）](#)

以上